



この記事がすごい！ 毎日新聞今週のこだわり4本

2022年11月27日号

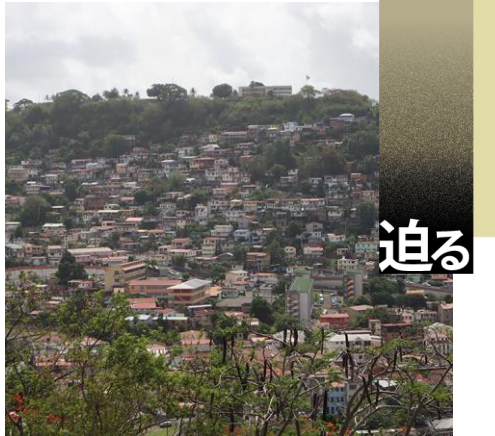
編集 / 毎日新聞社カスタマーリレーション本部

農薬汚染が問う植民地主義

27日(日) = 1、3面

今年4月のフランス大統領選の決戦投票。現職のマクロン大統領が再選されましたが、カリブ海に浮かぶ仏海外県の島、マルティニク＝写真＝では、極右のルペン候補が勝ちました。衝撃だったのは、この島が植民地主義を告発する文豪たちを輩出した島として世界的

に知られてきたからです。植民地独立の機運を育んだ島でなぜ人種差別的と批判される極右候補が勝ったのか。浮かび上がってきたのはクロルデコンという農薬による汚染の問題でした。島の実情と仏本土に対する島民の複雑な思いを探りました。



春闘で賃上げはどうなる

29日(火) = 3面

世界的なインフレや円安の影響で幅広い品目の値上げが続いています。2023年の春闘は、物価高に見合う賃金上昇が実現するか注目されています。連合は賃金を底上げするベアと定期昇給分

を合わせ5%程度の賃上げを求めています。しかし、多くの企業は大幅なベアには慎重な様子です。特に中小企業や非正規の待遇改善が必要ですが、厳しい状況です。個々の収入を増やすには賃上げ以

外に何が必要なのかについても考えます。



春闘の賃上げ目標について語る連合の芳野友子会長（左）



論点 東京工業大の「女子枠」

東京工業大Ⅱ写真Ⅱは2024年春の入学試験から「女子枠」を導入します。男女の学生数の不均衡を是正するのが狙いで、現在の募集人員1028人の約14%にあたります。

女性の比率を現在の13%から20%以上にすることを目標にしており、これまでにない多様な研究などにつながる可能性もあります。理系の「男社会」に風穴を空けるのか、その意義について論じます。

12月2日(金) Ⅱオピニオン面

特集ワイド 野間秀樹さんのBTS論

28日(月) = 夕刊特集ワイド

BTS（防弾少年団）の快進撃は止まらず、そればかりか、韓国発の歌とダンスに世界中が魅了されています。感動の秘密について、韓国語の特質などをまじえて解き明かしたの

が、新著「K-POP原論」を発表した言語学者の野間秀樹さんです＝写真＝。野間さんは「K-POPは声とことばと音と光、身体が織りなす至福の宇宙」とも表現してい

ます。野間さんに、BTSの魅力をつつぷりと聞きました。



竹橋の窓辺から

編集後記

「生活の窓辺」をご存知ですか？ 老後の生活資金や住まい、相続、保険、介護……年を重ねると「どうしたらよいだろう」と考えることが増えると思えますが、こうしたお困りごとについて、ファイナンシャルプランナーが寄り添いながら専門家と最適な解決方法を提案してくれるサービスです。なんと毎日新聞の宅配購読者無料プランに登録すると、無料で相談ができます！ぜひご利用ください。（小林知史）



※都合によっては掲載日や内容を変更する場合がございます。あらかじめご了承ください。